

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	全学教職課程委員会
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-1	教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
点検・評価項目(2)	4-1-2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
評価の視点	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 [教職課程は課程認定を受けた学科によるカリキュラム・ポリシーが基本となるので各学科を参照]
	科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
点検・評価項目(4)	4-1-4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-1-2	教職課程科目は、教育学科が主として担う「教職科目」と課程認定を受けた各学科が担う「教科科目」および、全学教職課程委員会が担う「教育実習事前指導」から構成されてきた。カリキュラム編成方針は基本的には各学科に委ねられている。今年度から新設された「教職実践演習」は、教職履修者全員に対する必修科目として設置された。そこでは「教職」「教科」を有機的に統合した新たな試みであり、その主体は全学教職課程委員会が負っている。
4-1-4	教育学科・各学科・全学教職課程委員会と責任主体が分散しているため、全学教職課程委員会が全体の動向を検証し、コンプライアンス上の問題等を常に検証してきた。

【効果が上がっている事項】

4-1-2	責任主体が分散する中でも「教職実践演習」は初期の成果をあげつつある。また、「教職センター」は実現にむけて準備委員会が発足する。
4-1-4	

【改善すべき事項】

4-1-2	
4-1-4	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

--

《指標データ》

データ集（表9）就職・大学院進学状況

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標	目標達成の指標となるもの	評価					
		2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	「教職課程センター」の設置						→
	「教職関係共通科目」の設置						→
14年度 目標	「教職課程センター」の設置						→